

平成26年度 施策評価シート

作成日 平成 26 年 11 月 25 日

1 施策の概要

施策名 (節の名称)		No. 11 上水道の整備			
部章節No.	第1部 第4章 第2節	評価担当部	水道事業所	関連部局	-
総合計画書掲載頁	72 頁	記載責任者	大矢秋夫		
総合計画 体 系	まちづくりの目標【部】	自然と調和した快適なまちづくり			
	施策の分類【章】	快適な生活環境の整備			
施策の目的 (基本方針)	水道施設の整備改良を推進するとともに、事業経営の効率化を進め、安全・安心な水の安定供給につとめます。				

2 施策を取り巻く環境

施策の現状	本町の上水道は、町営水道（7割）と県営水道（3割）から構成されています。年間給水量は、ほぼ横ばいで推移していますが、今後とも、安全・安心でおいしい水の確保を図り、安定した給水につとめる必要があります。
法令・制度 の変更	
施策の課題	本町の水道施設については、老朽化した施設を計画的に更新・改良していくとともに、地震など災害に備えた水道施設の耐震化を計画的に進めていく必要があります。また、近年、危惧されている耐塩素性病原微生物（クリプトスポリウム、ジアルジア等）についても、より安全・安心な給水環境を確保するため、その対策を進めていくことが課題となっています。

3 施策の成果指標（基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。）

住民満足度	指標（単位）		総合計画 策定時		中間値 （26年度）		目標値 28年度		達成度	
	『上水道の整備』について「満足」と感じる住民の割合		56.3 %		51.9 %		59.0 %		B	

主 な 目標指標	指標（単位）		増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度	
	浄水場における耐塩素性病原微生物の混入防止設備の設置数		増	0	0	1	1	2	C	
									—	
									—	

4 施策の活動指標（「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。）

主 な 活動指標	指標（単位）	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	紫外線処理設備（紫外線照射装置）の設置数	増	0	0	1	1	2	C
	有収率（％）	増	94.25	94.35	94.35	94.01	95.00	A
								—

5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	安全・安心な供給体制の整備	B			
2	水道事業経営の安定	B			
3	水の有効利用	B			

6 総合評価

成果指標評価	C	活動指標評価	B	進捗状況調査結果	B
--------	---	--------	---	----------	---

総合評価	C (自動判定)	→ 構成事務事業の統合・廃止の検討を要する施策です。
	総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点を踏まえて分析してください。）	
	・安全・安心な供給体制の整備については、まず水質の安全確保のため、水質検査計画に基づき毎月検査を行い、異常のないことを確認し、耐塩素性病原微生物の混入防止対策として戸倉浄水場に紫外線処理設備を設置し、来年度は中津浄水場へ設置を行い水質の安全確保に努めている。 ・老朽化した水道施設の改良・更新を計画的に進めるとともに、志田配水池や中津配水池などの耐震化対策も行われ、地震などの災害に備えた施設整備に努めている。 ・安定した水道事業経営については、平成10年7月に実施した料金改定以降、収支バランスが安定し順調な経営が図られ推移している。 ※今回の評価については、「施策の目標指標」が施設設備の設置数を設定しているためこのような判定となっているが、目標年度前の27年度中には達成されるものである。	

7 今後の方向性

方向性	☐ 現状維持 ☐ 一部見直し ☐ 大幅な見直し ☒ 新たな取り組みや事業を追加 ☐ その他
改善案などの内容	・水道事業経営については、安定が図られているものの、人口の減少、景気低迷による企業の節水努力や大口需要の減少等から、給水収益が横ばいから減少傾向になりつつある。さらに、水道施設創設期から40年以上経過し、老朽化が進む水道施設の計画的な更新や地震等の災害対策としての水道管布設替等、施設改修も進めているが、今後10年、20年の中長期的な視点に立ち水道ビジョンを見直し、計画的な経営に努める。 ・財政運営については、これまでも事業の合理化等を考え、水道メーター検針業務や水道施設稼働状況等点検業務、上水道テレメータシステムの導入等、個々の業務委託を行い、効率的な運営を図っている。今後、さらなる業務の合理化・能率化を進めるために、窓口業務や工事設計・監督、水質管理等を含め、全体をまとめた包括的な業務委託を考え、利用者へのサービス水準の向上を目指して行きたい。

8 庁内行政評価委員会コメント

※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	成果指標である施設設備の設置数は「C」評価であるが、目標年度前の27年度中には達成されることを考慮し、所管部の方向性のとおりとする
--------	---

9 総合計画の進捗状況調査における取組の方向性の評価（事務事業の評価）

[illegible]